

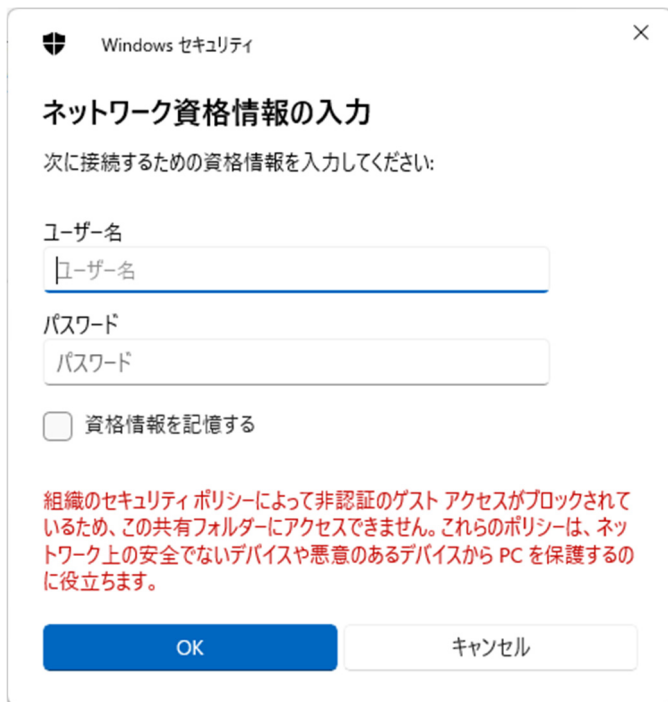
Windows11（24H2）に更新後、共有フォルダにアクセスできなくなった

Windows11 の PC で WindowsUpdate 後（24H2）共有フォルダにアクセスできなくなる場合があります。

【原因】

24H2 におけるセキュリティ向上のため、接続先との認証（ゲストアクセス）が制限されているためです。

以下のメッセージが表示される場合があります。



Windows セキュリティ

ネットワーク資格情報の入力

次に接続するための資格情報を入力してください:

ユーザー名
ユーザー名

パスワード
パスワード

☐ 資格情報を記憶する

組織のセキュリティポリシーによって非認証のゲスト アクセスがブロックされているため、この共有フォルダーにアクセスできません。これらのポリシーは、ネットワーク上の安全でないデバイスや悪意のあるデバイスから PC を保護するのに役立ちます。

OK キャンセル



¥¥XXX.XXX.X.XXX

¥¥XXX.XXX.X.XXX

組織のセキュリティポリシーによって非認証のゲスト アクセスがブロックされているため、この共有フォルダーにアクセスできません。これらのポリシーは、ネットワーク上の安全でないデバイスや悪意のあるデバイスから PC を保護するのに役立ちます。

OK

【暫定対応】

1.接続先端末に PC で利用しているユーザーアカウントとパスワードを設定する方法

ユーザーアカウントと PC 起動時のパスワード情報をサーバーに登録します。

2.PC 側のセキュリティ設定をアップデート以前の状態に戻す方法

24H2 以降に更新したアクセス元の PC で実施します。

※再起動が必要となるため、編集中のファイルは事前に保存してアプリケーションを終了しておきます。

※強化された設定を無効にするため、セキュリティリスクが高まる可能性があります。

そのため変更される場合には自己責任でお願いいたします。

2-1：OSのエディションを確認する

1. キーボードの[Windows]キーと[X]キーを同時に押します。
2. メニュー一覧から[システム]をクリックします。
3. [Windows の仕様]の「エディション」を確認します。

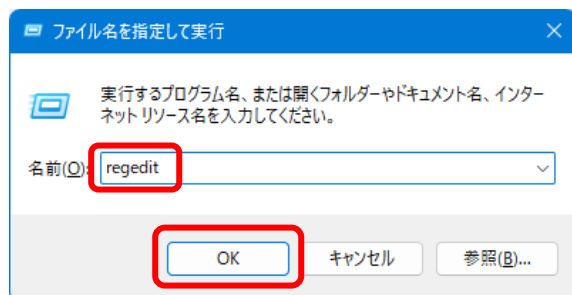
エディションによって対応内容が異なります。



2-2：Windows 11 Home の場合

- ・ゲストログオンを有効にして、デジタル署名を無効にする

1. キーボードの[Windows]キーと[R]キーを同時に押します。
2. [ファイル名を指定して実行]画面より、[regedit]と入力し[OK]をクリックします。



3. [レジストリエディター]画面、左ペインから以下の場所まで展開します。

以下の順番で展開します。

[コンピューター]

→[HKEY_LOCAL_MACHINE]

→[SYSTEM]

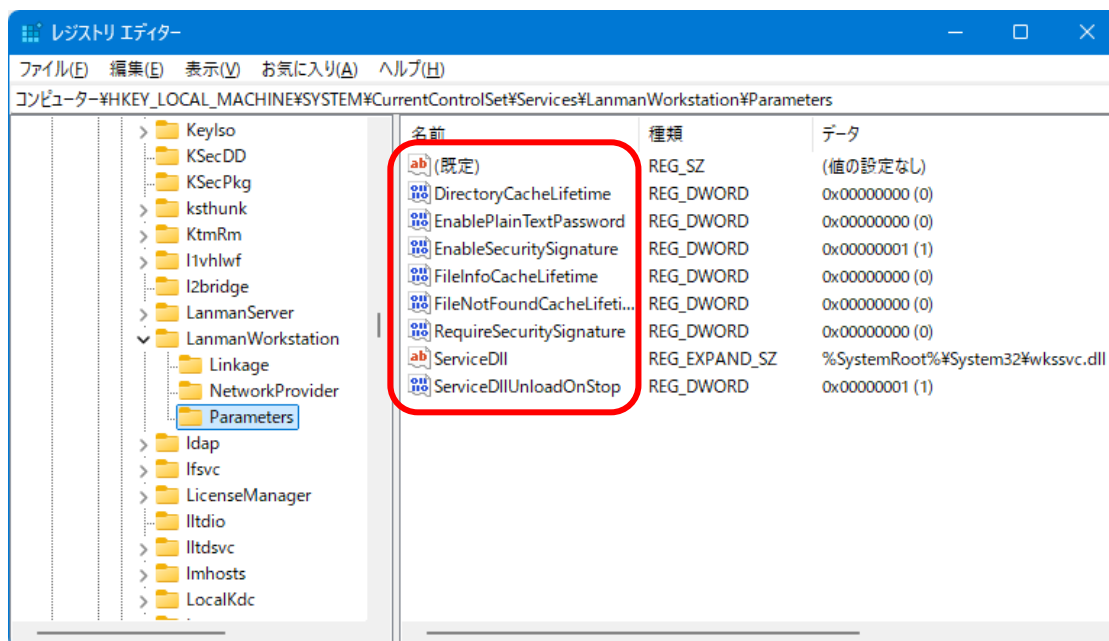
→[CurrentControlSet]

→[Services]

→[LanmanWorkstation]

→[Parameters]

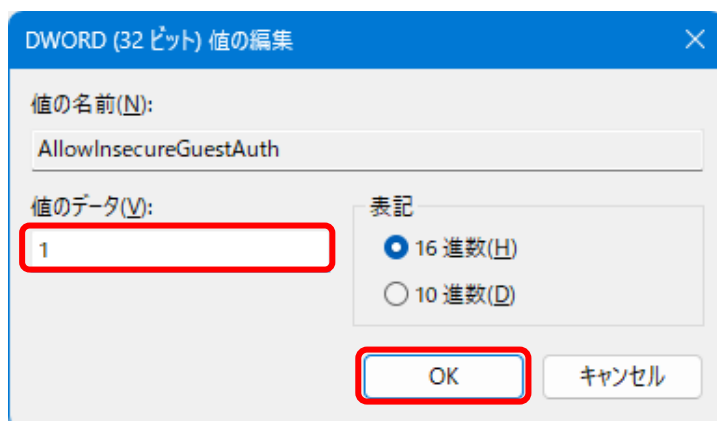
4. ウィンドウ右側に[AllowInsecureGuestAuth]が表示されているか確認します。



○ 表示されている場合

① [AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリックします。

② [データの値]が「0」なら「1」（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。「1」の場合は変更不要です。



。 表示されていない場合

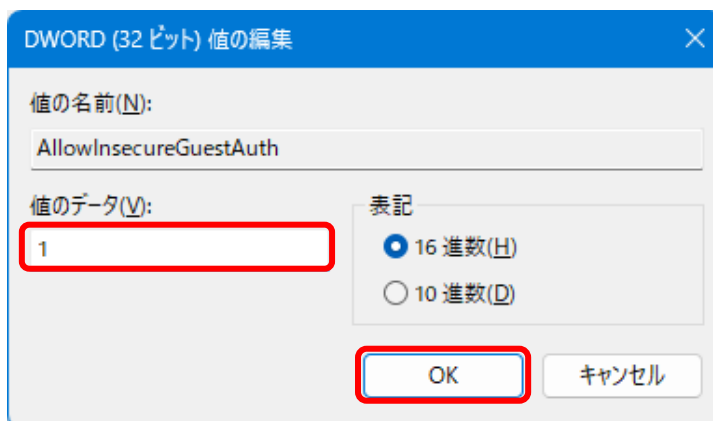
- ① ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD(32 ビット)値]の順にクリックします。



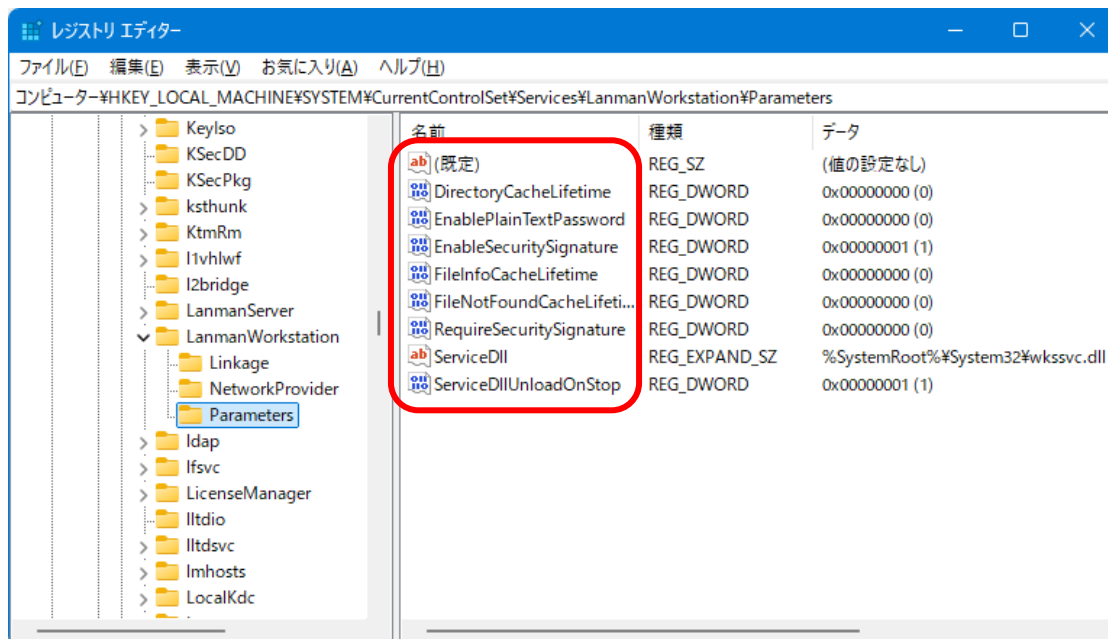
- ② [AllowInsecureGuestAuth]に名前を変更します。



- ③ [AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリック後、[データの値]を 1 に変更します。



5. 続けて同じウィンドウの右側に[RequireSecuritySignature]が表示されているか確認します。



○ 表示されている場合

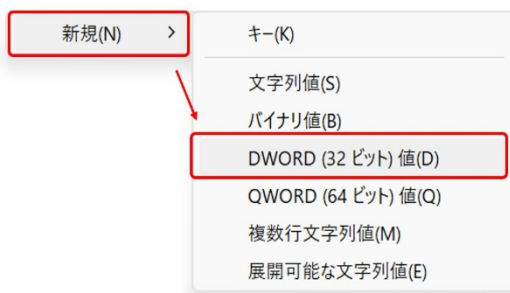
- ① [RequireSecuritySignature]をダブルクリックします。
- ② [データの値]が「1」なら「0」（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。「0」の場合は変更不要です。



。 表示されていない場合

- ① ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD(32ビット)値]の順にクリックします。

名前	種類	データ
ab(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
EnablePlainTextPassword	REG_DWORD	0x00000000 (0)
EnableSecuritySignature	REG_DWORD	0x00000001 (1)
ServiceDll	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\wkssvc.dll
ServiceDllUnloadOnStop	REG_DWORD	0x00000001 (1)
RequireSecuritySignature	REG_DWORD	0x00000000 (0)



- ② [RequireSecuritySignature]に名前を変更します。

名前	種類	データ
ab(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
EnablePlainTextPassword	REG_DWORD	0x00000000 (0)
EnableSecuritySignature	REG_DWORD	0x00000001 (1)
ServiceDll	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\wkssvc.dll
ServiceDllUnloadOnStop	REG_DWORD	0x00000001 (1)
RequireSecuritySignature	REG_DWORD	0x00000000 (0)

6. PC の再起動を行い、共有フォルダにアクセス可能になっているか確認します。

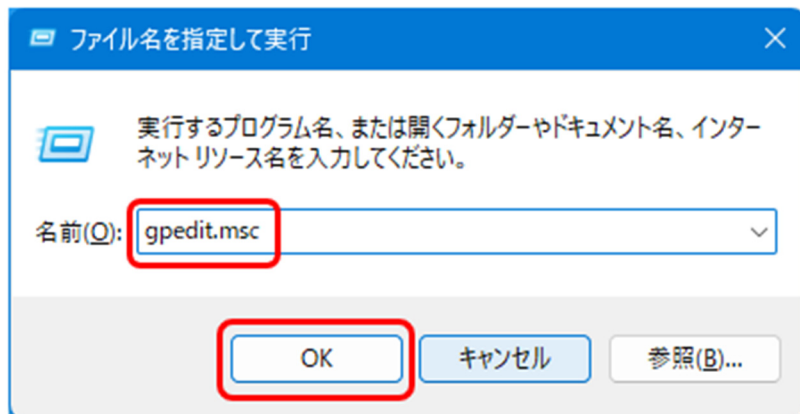
※接続が出来ない場合、サーバー側で従来の接続情報が残っている可能性があります。

時間をおいてから再度接続確認を試すか、サーバーの再起動を行うなどご検討ください。

2-3 : Windows 11 Pro の場合

・ゲストログオンを有効にする

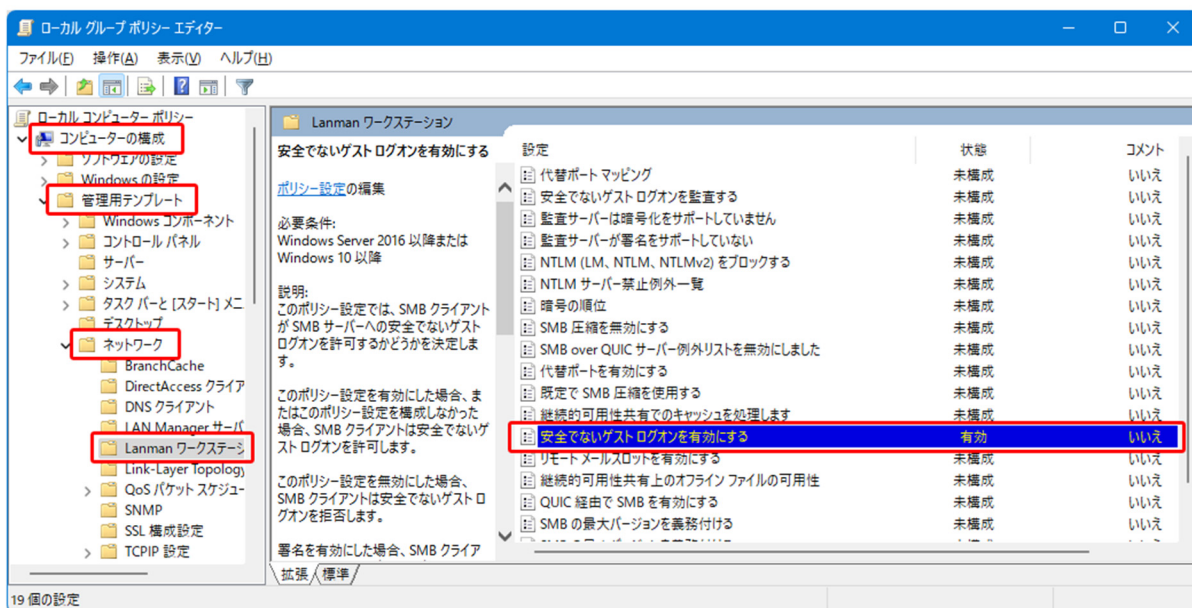
1. キーボードの[Windows]キーと[R]キーを同時に押します。
- 2.[ファイル名を指定して実行]画面より、[gpedit.msc]と入力し[OK]をクリックします。



- 3.[ローカル グループポリシー エディター]画面、左ペインから以下の場所まで展開します。
以下の順番で展開します。

→[コンピューターの構成]
→[管理用テンプレート]
→[ネットワーク]
→[Lanman ワークステーション]

- 4.ウィンドウ右側の[安全ではないゲストログオンを有効にする]をダブルクリックします。



5.[有効]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



6.PC の再起動を行い、共有フォルダにアクセス可能になっているか確認します。

※接続が出来ない場合、サーバー側で従来の接続情報が残っている可能性があります。

時間を置いてから再度接続確認を試すか、サーバーの再起動を行うなどご検討ください。

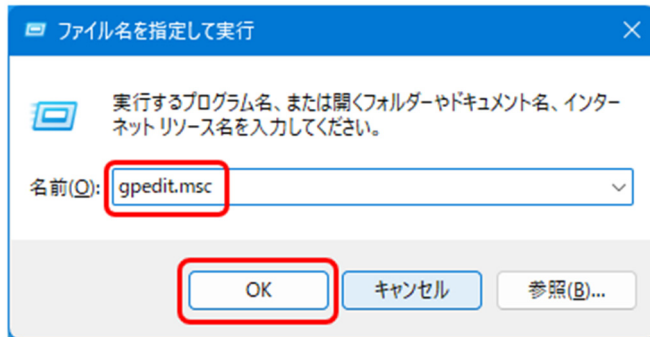
※この対応によって、Windows11 のセキュリティを低下させる場合があります。

ご理解いただいた上で、設定変更を行うようお願いいたします。

• デジタル署名を無効にする

※上記「• ゲストログオンを有効にする」だけでアクセスできない場合にこちらもお試してください。

1. キーボードの[Windows]キーと[R]キーを同時に押します。
2. [ファイル名を指定して実行]画面より、[gpedit.msc]と入力し[OK]をクリックします。



3. [ローカル グループポリシー エディター]画面、左ペインから以下の場所まで展開します。

以下の順番で展開します。

→[コンピューターの構成]

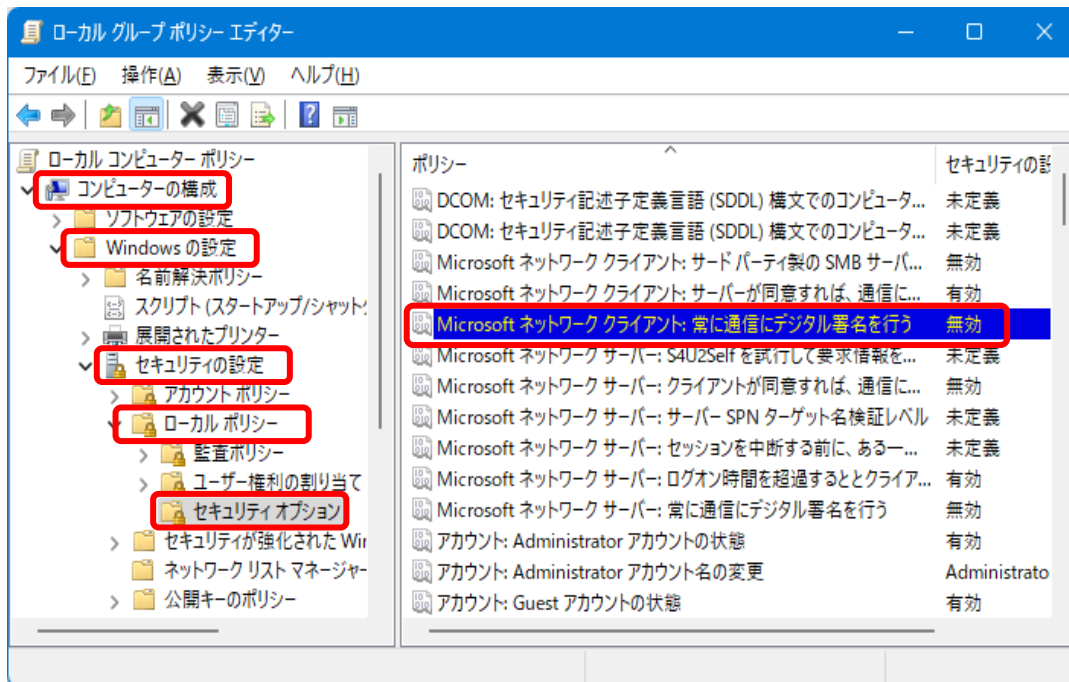
→[Windows の設定]

→[セキュリティの設定]

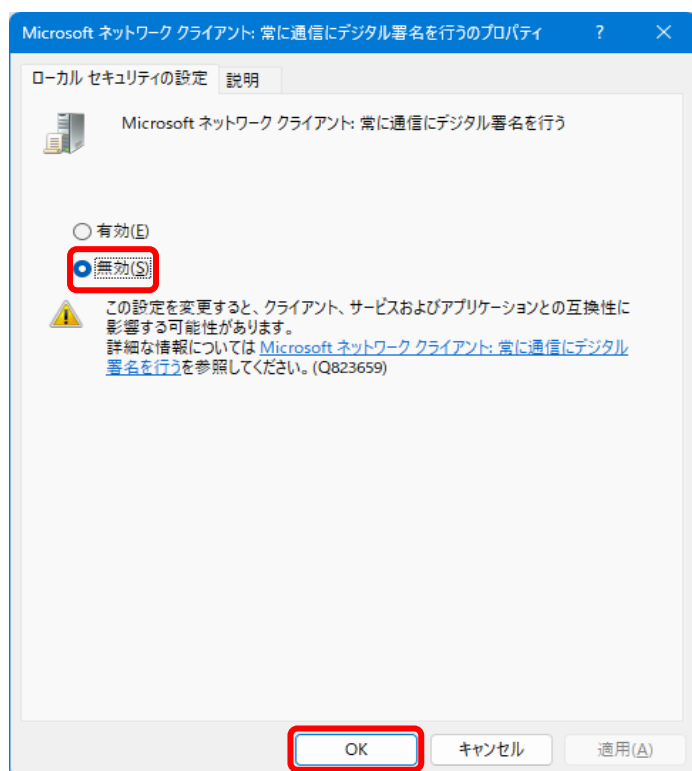
→[ローカル ポリシー]

→[セキュリティ オプション]

4. ウィンドウ右側の[Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う]をダブルクリックします。



5. [無効]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



6. 確認画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

• パソコンを再起動する

PC の再起動を行い、共有フォルダにアクセス可能になっているか確認します。

※接続が出来ない場合、サーバー側で従来の接続情報が残っている可能性があります。

時間をおいてから再度接続確認を試すか、サーバーの再起動を行うなどご検討ください。

※この対応によって、Windows11 のセキュリティを低下させる場合があります。

ご理解いただいた上で、設定変更を行うようお願いいたします。